

## 第3回SP樹木剪定講習会を開催しました

\* SP（シニアワークプログラム）事業とは、厚生労働省の委託を受けて実施する高齢求職者等を対象とした技能講習（座学・実技）等です。

開催日は11月6日から12月7日までの間の全9日間でした。

場所はシルバー人材センター（座学）、けいはんな記念公園（樹木観察）、打越台環境センター（剪定道具と樹木剪定の実技指導）、京都府立大学附属農場（果樹管理講座と果樹剪定の実技指導）、センター剪定班就業場所（剪定就業の実地見学と実技指導）、センター堆肥場（堆肥化事業実地見学）、まさに場所もいろいろ、内容もいろいろの充実した樹木剪定講習会になりました。

第1回、2回と同様、今回もSP（シニアワークプログラム）事業として開催し、30名（一般26名、会員4名）が受講しました。

前回より4名増の50名（うち会員8名）の応募があり受講者は抽選により決定しました。今回は女性が11名と前回の4名を大幅に上回る応募がありました。またこの講習会では初めて木津川市から3名の応募がありました。

座学では、樹木剪定についての基礎知識のほか、以下の各氏を招いて就業等にかかわる知識を学びました。

- ・伊地知久凱氏  
（元中央労働災害防止協会大阪労働衛生センター副所長：就業時の安全作業を担当）
- ・瀧上佑樹氏  
（京都府地球温暖化防止活動推進センター職員：球温暖化防止を担当）
- ・丸山観月氏  
（メロディ・ノートエンタテイメントマナー講師：接客マナーを担当）

実地観察及び実技指導では、以下のような内容で剪定班及び堆肥化事業担当者のセンターの会員から実務的な知識技能を学びました。

- ・植物の種類と特性
- ・樹木及び果樹の剪定技能
- ・堆肥化事業

天候の影響で当初のカリキュラムを一部変更したものの概ね計画通り実施することができました。



剪定班就業場所で



京都府立大学附属農場で



シルバー堆肥場で

## 障子張り替え講習会を開催しました

12月7日午前10時から12時までセンター作業所において障子の張替え講習会を行いました。講師は上山洋二、伏木繁樹（いずれもセンター会員）です。14名の参加者は、講師の指導で障子の張り替えの実習を行い技術の習得を図りました。

